編 集 後 記

汚染土壌対策に起因する築地市場の豊洲への移転延期問題，本５月号の編集後記として記しておきますが，数か月，数年後に本誌を読み返した時，この問題はどのように解決されているでしょうか？

５月号は，「解体とリサイクル，廃棄物処理」を特集テーマに建築・土木構造物の解体，建設廃材のリサイクルに関する技術，工法を紹介すると共に，廃棄物の処理技術，さらに，東日本大震災に伴い国民が直面することとなった放射性廃棄物や，（豊洲問題で認識が高まった）汚染土壌対策などについて紹介させていただきました。

巻頭言は環境地盤工学研究所の嘉門理事長にお願いしました。建設系廃棄物が現場の外に出た後，どのように処理されているのかという実態はあまり知られていないように思います。しかしながら，廃棄物が適正に処理されなければ環境劣化や再整備もできないはずです。そのためには建設・土木・機械の技術ならびに行政が，廃棄物の処理，リサイクルに積極的に取り組み，発展して行かなければならないこと，業界へのエールを頂いたような気持ちです。

余談ですが，「イタリア人は，自分で出したゴミも処理出来ないのに，放射性廃棄物の処理なんて出来る訳がない。だから，原発には手を出さない」とテレビのインタビューでイタリア婦人が答えていたのを覚えています。イタリア人と日本人の気質の違いを皮肉って言ったものでしょうが，イタリアと同様に資源の少ない日本が，解体・リサイクル技術や，廃棄物の処理技術で，環境創生や，復興に取り組む姿勢を賞賛されたものと思いました。今回の特集を担当し，このような機関誌で，これらの技術を紹介し，将来の積極的な取り組みに生かしていくことの重要性を再認識した次第です。

最後になりますが，お忙しいなか快く執筆・ご寄稿をいただきました関係者の皆様に心より御礼を申し上げます。　（上田・竹田）

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡　亮司　　加納研之助
後藤　　勇　　佐野　正道
新開　節治　　関　　克己
髙田　邦彦　　田中　康之
塚原　重美　　中岡　智信
中島　英輔　　本田　宜史
渡邊　和夫

編集委員長

見波　　潔　村本建設㈱

編集委員

新田　恭士　国土交通省
大槻　　崇　国土交通省
山口　康広　農林水産省
浅野　仁之　㈱鉄道・運輸機構
加藤　　誠　鹿島建設㈱
赤坂　　茂　大成建設㈱
荒瀬　純治　清水建設㈱
三輪　敏明　㈱大林組
久保　隆道　㈱竹中工務店
宮川　克己　㈱熊谷組
中村　優一　㈱奥村組
京免　継彦　佐藤工業㈱
竹田　茂嗣　鉄建建設㈱
岡田　英明　五洋建設㈱
飯田　　宏　東亜建設工業㈱
赤神　元英　日本国土開発㈱
相田　　尚　㈱NIPPO
岡本　直樹　山﨑建設㈱
中川　　明　コマツ
山本　茂太　キャタピラージャパン㈱
小倉　　弘　日立建機㈱
上田　哲司　コベルコ建機㈱
石倉　武久　住友建機㈱
江本　　平　範多機械㈱
太田　正志　施工技術総合研究所

事務局

日本建設機械施工協会

６月号「都市環境，都市基盤整備，自然再生等特集」予告

・整備新幹線の軌道・電気工事用機械　・地下水流動を妨げずに事業継続できる汚染地下水の拡散防止技術　・硬質粘土塊を対象とした自然由来砒素の浄化技術　・微生物を利用した水銀汚染土壌の浄化技術　・小規模閉鎖性水域に礫間接接触酸化槽と植生浮島を適用した水質浄化事例　・集中豪雨時の道路冠水対策・河川氾濫対策 樹脂製雨水貯留浸透槽の道路下への適用　・多発する集中豪雨に対応した高機能雨水貯留施設の開発　・建設工事における生物多様性保全および環境創造技術　・敷地の潜在的な力を引き出す自然再生による「六花の森」プロジェクト　・湘南港人工タイドプールの生態学的評価　・転炉系製鋼スラグ資材を用いた海域環境造成技術の開発　・樹木対応型壁面緑化システムの開発　・時代の建層

【年間購読ご希望の方】
①お近くの書店でのお申込み・お取り寄せ可能です。　②協会本部へお申し込みの場合「図書購入申込書」に以下事項をもれなく記入のうえ FAX にて協会本部へお申込み下さい。
…官公庁／会社名，所属部課名，担当者氏名，住所，TEL および FAX
年間購読料（12 冊）　9,252 円（税・送料込）

建 設 機 械 施 工

第 69 巻第 5 号（2017 年 5 月号）（通巻 807 号）
Vol. 69　No. 5　May　2017
2017（平成 29）年 5 月 20 日印刷
2017（平成 29）年 5 月 25 日発行（毎月 1 回 25 日発行）
編集兼発行人　　辻　　靖　三
印　刷　所　　日本印刷株式会社

発 行 所　本 部　一般社団法人　日本建設機械施工協会
〒 105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号　機械振興会館内
電話（03）3433-1501；Fax（03）3432-0289；http://www.jcmanet.or.jp/

施工技術総合研究所	〒 417-0801 静岡県富士市大渕 3154	電話（0545）35-0212
北海道支部	〒 060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話（011）231-4428
東北支部	〒 980-0014 仙台市青葉区本町 3-4-18	電話（022）222-3915
北陸支部	〒 950-0965 新潟市中央区新光町 6-1	電話（025）280-0128
中部支部	〒 460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-10	電話（052）962-2394
関西支部	〒 540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話（06）6941-8845
中国支部	〒 730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話（082）221-6841
四国支部	〒 760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話（087）821-8074
九州支部	〒 812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30	電話（092）436-3322

本誌上への広告は Santana 有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合せ下さい。
〒 103-0013　東京都中央区日本橋人形町 2-21-5　井手口ビル 4F　TEL：03-3664-0118　FAX：03-3664-0138
E-mail：san-mich@zam.att.ne.jp　担当：田中